



A Princely Tradition

チャールズ国王からウィリアム皇太子へ継承

英国王室の歴史 称号「プリンス・オブ・ウェールズ」を巡って

連合王国である英国は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの4つの国から成り立っている。

2022年、英国君主として史上最長となる即位70年を迎えたエリザベス2世が崩御したことは記憶に新しい。

王位はチャールズ3世に継承され、新国王が誕生。その長男ウィリアム皇太子は父の旧称号「ウェールズ公」を継承した。

そんな中、イングランドとウェールズの歴史的背景から、長年受け継がれてきた君主制に一部反発の声も上がっている。

ニーナ・ドス=サントス記者の
発音と話し方の特徴



イギリス英語

速さ:★★★★ 発音:★★★★

語彙:★★★★ 総合:★★★★

[★聞き取りやすい↔★★★★難しい]

一般的なイギリス英語。relicなど、単語によっては語尾の子音と語中の子音を米語よりはっきり発音しているのが特徴。発音で注目したい語は predecessor。イギリス英語では「プリデセサ」、アメリカ英語では通例「ブレデセサ」。



キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

49

- succession [səkseʃən] 継承、後継
- heir [é:r] (王位などの) 継承者、後継者
- throne [θrú:n] 王位、王座
- title A B [táitl] AにB(称号・肩書)を与える
- relic [rélik] 名残、遺風
- medieval [midii:vəl] 中世の
- resonate [rézənéit] (心の中に) 響き渡る、情感を呼び起こす
- crown A B [kráun] A(人)をB(王位など)につかせる
- pledge A to B [plédʒ] AをBに与えることを誓う、固く約束する
- monarchy [mánərki] 君主制、君主政体

50 54 イングランドの支配に対する抵抗の歴史

As one of the countries that make up the United Kingdom, / Wales has played a special role in the royal succession. // By tradition, / the heir to the British throne is formally titled the Prince of Wales. // It's a relic of the medieval game of thrones between England and Wales, / as the English crown looked to control its Welsh rivals throughout the Middle Ages. // This heritage still resonates in Wales, / a country with its own language, its own national identity, and its history of resistance to English rule. //



ウェールズ的首都カーディフにあるカーディフ城では、赤いドラゴンをあしらったウェールズ国旗がたなびく

princely:
《タイトル》王侯らしい、立派な

make up:
～を構成する

Wales:
ウェールズ ▶グレート・ブリテン島南西部の半島状の地方。

play a role in:
～において役割を果たす

royal:
王位の、王室の

succession:
継承、後継

heir:
(王位などの) 継承者、後継者

throne:
王位、王座

formally:
正式に、公式に

title A B:
AにB(称号・肩書)を与える

the Prince of Wales:
プリンス・オブ・ウェールズ、ウェールズ公 ▶英国皇太子の称号。

relic:
名残、遺風

medieval:
中世の

game of thrones:
王位を巡る駆け引き、争奪戦

the English crown:
イングランド王国の政府

look to do:
～しようとする

Welsh:
①ウェールズの、ウェールズ人の ②ウェールズ語

rival:
競争相手

the Middle Ages:
中世

heritage:
遺産、伝統

resonate:
(心の中に) 響き渡る、情感を呼び起こす

resistance to:
～に対する抵抗、反抗

rule:
統治、支配

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリスニングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

連合王国(英国)を構成する国の1つとして/ ウェールズは王位継承において特別な役割を果たしてきました。// 伝統的に/ イギリスの王位継承者は「プリンス・オブ・ウェールズ」という称号を公式に与えられます。// それは中世にイングランドとウェールズの間で行われた王権を巡る争いの名残です/ 中世を通じて、イングランド王国はウェールズの対抗勢力を支配しようとしたのです。// この記憶は今もウェールズ(の人々)に深く刻み込まれています/ 独自の言語と独自の国家アイデンティティー、そしてイングランドの支配への抵抗の歴史を持つこの国(の人々)に。//

理解のポイント

》 ①のasは理由・原因を表す接続詞。
 》 ②の前置詞withは所有・所持を表し、目的語は its own language, its own national identity, its history...ruleの3つである。